

第Ⅰ部 環境創造型有機稲作の技術問題

- 1 「いのち育む有機稲作」の普及技術としての可能性と課題
- 2 営農のための生き物調査と有機稲作― 試論
- 3 イネ―麦―大豆の2年3作輪作体系による有機農業の実践
- 4 福島県中山間地での「生きものを育む有機稲作」の実践
- 5 北海道における生物多様性を活かした有機稲作の実践
- 6 「秋代ふゆみずたんぼ」の抑草技術と文化
- 7 田んぼの生き物指標

第Ⅱ部 有機農業推進法と地域における推進課題

- 1 資料1 JAS法制定以降の主要な有機農産物の国内格付の推移
- 2 資料2 有機農業に関するアンケート調査
- 3 資料3 農水省有機農業支援策
- 4 有機農業推進法下での有機農業技術開発の課題
- 5 有機農業による主穀農業の再建と有機認証制度の新たな構築
- 6 宮城県における環境保全米全県運動について

第Ⅲ部 有機農業と環境再生運動の役割

― 環境支払いに関する論点整理と提言 ―

- (1) 環境支払いに関する試論
- (2) 環境支払いの枠組みをめぐって
- (3) 生物多様性国家戦略と有機農業
- (4) 韓国で開催されるラムサール条約COP10と水田決議

特集

- 1 第8回 日韓中環境保全型稲作技術国際交流会議報告
 - (1) 国際交流会議分科会報告
 - (2) ビック対談 谷津義男：金成勲（元農水大臣）対談
 - (3) 大会宣言

2007新聞報道

頒布価格 1000円 161ページ 申込みはメールでお願いします。

送付先 住所
冊数

氏名

冊